

令和7年度厚木市総合教育会議第3回会議 会議録

1 日 時

令和8年2月13日（金）午前10時から正午まで

2 場 所

厚木市役所本庁舎3階 特別会議室

3 出席者

山口市長、佐後教育長、杉山教育長職務代理者、山本委員、高木委員

4 事務局

企画部長、教育部長、教育指導担当部長、企画部次長、企画政策課長、
財政課長、子育て支援担当課長、消防総務課長、予防課長、教育総務課長、
教育指導課長、学務課長、学校施設課長、教育研究所長、青少年教育相談センター長

5 傍聴人

なし

山口市長挨拶

6 案 件

- (1) 厚木市教育大綱について
- (2) 厚木市立小・中学校の教職員に関する働き方改革実施計画（案）について

7 報告事項

- (1) 令和8年度の主な事業について
- (2) PR動画について

8 会議資料 別紙のとおり

9 会議概要（議事進行：山口市長）

6 案件

(1) 厚木市教育大綱について

企画政策課から資料1に基づき説明。

【杉山委員】

前回の会議を踏まえ、ポスターを2種類作成いただき感謝する。

3つの力のうち、「築く」の説明文の「新しい価値」が難しい表現と感じる。「学んだことを繋いで、新しいものをつくる」など、表現の再検討を希望する。

【山本委員】

ポスター2種類とも大変よい。こども用は、イラストが増えた点も評価する。

杉山委員と同様に、「新しい価値」は「知恵を伸ばす」という意味合いかと感じるが、表現が難しい。

また、こども版の「取り組む4つのこと」のうち、1つ目「こどもたちに必要な力を育てる」、3つ目「地域の人とこどもを育てる」のように、文章の末尾が「育てる」で重複しているため、1つ目を「伸ばす」とするのはどうか。

最後に、4つ目「一生学び」だと、少し表現が強い気がする。「学び続けて」のほうが軽やかなイメージになるのではないか。

【教育長】

ポスターは、全体的に楽しげな雰囲気でよい。

ただ、一般用ポスターについて、教育大綱及び第3次教育振興基本計画は生涯学習の考えを持つものであり、大人も当事者だが、こどものイラストが多いため、こどものみを対象とするものと勘違いしてしまう懸念がある。大人向けにイラストを工夫してもよいのではないか。

また、こども版の「取り組む4つのこと」は、大人が取り組むこととして書かれているが、こどもの視点で書き換えられないか。

【企画政策課長】

いただいた意見を参考にさせていただく。

【山口市長】

厚木市教育大綱については、「基本理念」や、その実現のために必要な「3つの力」、これらに紐づく取組内容である「基本方針」を直感的に理解できる形でお示しできるよう、ポスターで周知を図ることとした。

学校現場だけでなく、地域の身近な施設にも掲示し、本市の教育に対する考え方を市民の皆様と共有することで、こどもたちの学びと成長を市全体で支えていく意識の醸成に繋げていきたい。

(2) 厚木市立小・中学校の教職員に関する働き方改革実施計画(案)について
教育総務課長から資料2に基づき説明。

【杉山委員】

「業務量管理」の具体的な実施方法はどのように考えているか。

保護者アンケート等、これまでいただいた意見を鑑みると、教職員の働き方改革への理解度にはばらつきがあり、残業時間の管理だけでは測れないものと思っている。

【教育総務課長】

「業務量管理」については、参考資料でお示しした業務の3分類を使い分けて、教職員の負担軽減を主軸に進めていくべきと考えている。

【杉山委員】

「学校以外が担うべき業務」について、地域が責任を負うことになるのかという点を懸念している。これまでは、地域での見守りや支援を、こどもたちのために協力しよう、というスタンスで行っていただいていたが、今後は登下校の見守りなどを地域が責任を負う義務が生じるとなると、重い部分がある。

市民協働推進課で研修等を行っていただく中でも、市の理想と地域の実情は異なる。

【教育総務課長】

地域に関しては、推進員を配置する予定。推進員とうまく連携しながら、学校と地域で協力していただきたい。

【杉山委員】

推進員は全ての学校に配置されているが、仕事をしている人も多く、日中の活動が難しい場合もあるため、「地域の実情に合わせて」の対応は現実的に困難と感じている。

【高木委員】

数値目標があると分かりやすいが、タイムカード記録後に仕事をしてしまう、仕事を家に持ち帰ってしまうなど、負担が見えづらくなるおそれがある。

数値目標に縛られるのではなく、場合によっては予算を投入して、業務を担う人材を雇うなど、多方向的に支えられるよう考慮いただきたい。

【山本委員】

令和7年度の教職員へのアンケートでは「働きやすさ 83.4%、やりがい 92.7%」と

高評価であり、厚木市がこれまで取り組んできた成果が出ているものと思う。

働き方改革の落としどころとして、「ウェルビーイング」に根差した主観と客観の考え方を考慮のうえ、学校と地域の役割を整理し丁寧に進めてほしい。

また、厚木市の取組を教職員にしっかり周知してほしい。

【杉山委員】

働き方改革の周知は、教職員だけでなく、保護者にも徹底してほしい。

また、授業数や先生の人数について柔軟に変更できると、働き方改革が進みやすいと思うが、学習指導要領は手を加えにくい部分がある。教職員の増員については県に依頼することになるため、市長・教育長の強い働きかけを希望する。

【教育長】

教職員の負担軽減が「教職員が楽になるため」と誤解されることを懸念している。

働き方改革における教職員の負担軽減は、こどもに向き合うための時間確保が本来の目的であり、現在はその時間を削って業務をこなしている実情がある。

教職員へのアンケート結果からは、熱意ある人材が多数いることが分かる。働き方改革が進むと、こどもたちへより質の高い教育を提供できるものと思っている。

【市長】

教職員の働き方改革と健康の確保は、教育の質を支える重要な取組であると考えている。

今後も、教職員が安心して働ける環境づくりについて、引き続き教育委員会と連携して取り組んでいく。

7 報告事項

(1) 令和8年度の主な事業について

企画政策課長から机上配布資料に基づき説明。

【杉山委員】

少年消防クラブ運営事業費に関連し、防災に関するイベントについて質問させていただく。

夏休みの宿題では防火ポスターなどがあるが、それ以外にこどもが楽しめる防火・防災のイベントはあるか。

【予防課長】

市主催としては、夏休み期間中に水消火器や煙体験、はしご車乗車体験、救急車乗車体験や応急手当体験など、必要な防火・防災知識を身に付けていただくイベントを実施している。

県主催としては、神奈川県防災センターを活用し、神奈川県単位で少年少女防災教育を実施している。

この教育は、防火・防災教育の一環として、神奈川県内のボーイスカウトや少年消防クラブなどの団体が参加しているもので、子供達同士の交流を図るうえでよい機会となっている。

また、消防出初式や年末・歳末特別警戒には、こどもたちにも防火の視点で参加していただき、教育面の推進をしていきたい。

【杉山委員】

PTA 活動などで精力的にイベントを考えられている人もいる。今後も、こどもが楽しみながら防災意識を深められる機会を提案していただきたい。

【山本委員】

要望として、キャリア教育の観点では消防の取組が分かりやすい。学校との共同企画等があれば紹介いただきたい。自身が小学生時代であれば、消防車に乗ってみたいと思う。

【消防総務課】

小学生対象としては、消防署見学、中学生対象としては職場体験を実施している。

また、消防フェアでは消防署を全面開放するほか、各所属の予防啓発看板の改修時には小・中学校の美術部員などに声掛けし、絵の協力をいただいている。

【高木委員】

子育て支援センターのリニューアルについて、場所は同じ建物内で間違いないか。また、現利用者の要望をリサーチする予定はあるか。

【子育て支援担当課長】

場所は、現在の場所と同じアミューあつぎの8階である。

これまでの経過としては、利用者の意見を伺うなどの過程を経て、令和6年11月に策定方針を定めた。

令和7年度は、基本計画策定に当たり、7月に意見交換会、2月からパブリックコメントを実施している。

【山本委員】

インクルーシブ教育については、3億円を超える大きな予算。取組内容の県内初の部分を伺いたい。

【教育指導課長】

市内の小・中学校にインクルーシブ支援員を配置すること、さらにインクルーシブ指導員を配置して校内を巡回しながら助言すること、これが県内初の取組となる。

厚木市の学校では、現在、「みんなの教室システム」を構築し、個別支援が必要な児童・生徒に対し、通常教室の中で、あるいは別室で支援を受けられるシステムを導入している。

このようなシステムが効果的に機能しているかを確認するために、インクルーシブ指導員を導入し、こどもの様子を見ながら学校に助言等をしていただくものである。

【山本委員】

インスパイアの中で、「アーバンスポーツ環境を整備」とあるが、バスケットボールコート改修だけでなく、ぼうさいの丘公園のスケートボード施設の拡充等の予定はあるか。

【財政課長】

スポーツ環境整備推進事業費のバスケットボールコート改修点については、設備の老朽化対応に加え、ボールが施設外に出てしまう等の問題に配慮し、地域住民との良好な関係作りを踏まえた改修を予定している。

宣伝となるが、スポーツの全国リーグ招致補助金を設け、こどもにも大人にも本物を観る機会を提供していく予定である。

なお、ぼうさいの丘公園の設備に関しては令和8年度に改修等計画しているものはないが、担当課とも相談しながら対応していく。

【山本委員】

スポーツの推進に当たっては、けがの危険も付き物であるため、医療機関とどのようにコンタクトをとるかなどの仕組み作りも視野に入れて検討してほしい。

【市長】

令和8年度は、第11次厚木市総合計画がスタートする重要な年である。本日紹介した子育て・教育関連事業については、長期ビジョンに掲げる将来都市像「つながる未来都市-A-T-S-U-G-I-あつぎ」を市政運営の軸としながら、未来を切り開く人材を育てるための取組として、着実に推進していく。

(2) PR動画について

動画「厚木市制70周年記念事業の軌跡」及び「教育環境PR動画」を視聴。

【山本委員】

感想として、市制70周年の事業は毎年実施してほしいほど充実していた。

市の鳥が制定されたが、市の魚は制定しないのかと質問をいただいたこともある。

そのくらい関心が高い事業であった。

教育環境PR動画もたいへん完成度が高いため、積極的に周知してほしい。

【教育総務課長】

教育環境PR動画については、ショートバージョンを小田急線の車内広告で流す予定である。

【山口市長】

厚木市制70周年事業については、こどもから大人まで多くの市民の皆様に参加いただき、世代を超えて本市の歩みと魅力を共有する貴重な機会となった。

学校や地域が連携し、こどもたちが地域との繋がりを深めるきっかけになったことは、教育の観点からも大きな意義があったと感じる。

教育環境PR動画についても、本市には充実した環境が整っていることを積極的に周知し、市民の皆様の愛着と誇りを一層高めていけるよう、引き続き、教育委員会の皆様と連携して取り組んでいく。

【山口市長】

案件がすべて終了したため、進行を事務局に返す。

【事務局】

これをもって第3回会議を終了する。

以上